

2013年11月11日

＜福島洋上風力コンソーシアム＞

丸 紅 株 式 会 社
国 立 大 学 法 人 東 京 大 学
三 菱 商 事 株 式 会 社
三 菱 重 工 業 株 式 会 社
ジ ャ パ ン マ リ ン ユ ナ イ テ ッ ド 株 式 会 社
三 井 造 船 株 式 会 社
新 日 鐵 住 金 株 式 会 社
株 式 会 社 日 立 製 作 所
古 河 電 気 工 業 株 式 会 社
清 水 建 設 株 式 会 社
み ず ほ 情 報 総 研 株 式 会 社

**福島復興・浮体式ウィンドファーム実証研究事業 2MWダウンウィンド型浮体式洋上風力発電設備
および浮体式洋上サブステーションの設置完了・運転開始について**

丸紅株式会社（プロジェクトインテグレータ）、東京大学（テクニカルアドバイザー）、三菱商事株式会社、三菱重工業株式会社、ジャパン マリンユナイテッド株式会社、三井造船株式会社、新日鐵住金株式会社、株式会社日立製作所、古河電気工業株式会社、清水建設株式会社および、みずほ情報総研株式会社からなるコンソーシアム（「福島洋上風力コンソーシアム」）が2012年3月に経済産業省より受託した「浮体式洋上ウィンドファーム実証研究事業」に関し、2MWダウンウィンド型浮体式洋上風力発電設備1基、66kV浮体式洋上サブステーション（世界初）および、海底ケーブル（浮体間は世界初）の設置工事が完了し、実証海域である福島県沖約20km地点において運転を開始しました。

第1期工事の完了に伴い、2MWダウンウィンド型浮体式洋上風力発電設備1基、66kV浮体式洋上サブステーションは本日より実証試験段階に入り、気象・海象データおよび、運転データ収集・分析を行い、浮体式洋上風力発電の安全性、信頼性、経済性を評価すると共に、運転維持管理手法を確立していきます。

なお、第2期工事では世界最大級の7MW油圧ドライブ式浮体式洋上風力発電設備2基を2014年度中に実証研究実施海域に設置する予定です。福島県沖浮体式洋上ウィンドファームの設備容量は合計で16MWとなり、浮体式では世界最大規模となります。

2015年度まで行われる今回の実証研究においては、製造業をはじめとする洋上風力発電関連産業の創出、また浮体式洋上発電設備を日本の主要な輸出産業の1つに発展させることを目標とするほか、地元の漁業関係者との協議を通じて、本実証研究事業の大きなテーマの1つである“漁業と浮体式洋上ウィンドファームの共存”の実現に向けた取り組みを進めていきます。



2MW ダウンウィンド型浮体式洋上発電設備
「ふくしま未来」(浮体形式：コンパクトセミサブ)



66kV 浮体式洋上サブステーション「ふくしま絆」
(浮体形式：アドバンストスパー)

設備名称	設備規模	風車形式	浮体形式	工期
浮体式洋上 サブステーション 「ふくしま絆」	容量 25MVA 電圧 66kV	変電所	アドバンストスパー	第1期
ダウンウィンド型風車 搭載用セミサブ 「ふくしま未来」	2MW	ダウンウィンド型	4 コラム型セミサブ	第1期
大型油圧式風車 搭載用セミサブ 「ふくしま新風」	7MW	油圧式ドライブ型	3 コラム型セミサブ	第2期
大型油圧式風車 搭載用アドバンスト スパー 「(名称未定)」	7MW	油圧式ドライブ型	アドバンストスパー	第2期

以 上